

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
小嶋 栄子			

講義概要	受講者の日本語能力を考慮しながらテキストおよびさまざまな教材やプリントを用い、日本語の総合的な読解（文字・語彙・文法）力を高めていく。受講者の活発な質疑応答を期待する。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 学習課題 復習：オリエンテーションの確認 予習：「第1課」の語句の意味を調べる。	
	2	第1課 平易な教材を読み進めながら、文法力を高める。 学習課題 復習：「第1課」の確認 予習：「第2課」の語句の意味を調べる。	
	3	第2課 平易な教材を読み進めながら、さまざまな文法を理解する。 学習課題 復習：「第2課」の確認 予習：「第3課」の語句の意味を調べる。	
	4	第3課 日本語の平易な短文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 学習課題 復習：「第3課」の確認 予習：「第4課」の語句の意味を調べる。	
	5	第4課 日本語の平易な短文を読み、新しい文型、文構成を理解する。 学習課題 復習：「第4課」の確認 予習：「第5課」の語句の意味を調べる。	
	6	第5課 日本語の平易な短文を読み、必要な情報を理解する。 学習課題 復習：「第5課」の確認 予習：「第6課」の語句の意味を調べる。	
	7	第6課 日本語の平易な短文を読み、内容を理解する。 学習課題 復習：「第6課」の確認 予習：「第7課」の語句の意味を調べる。	
	8	第7課 日本語の平易な短文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題 復習：「第7課」の確認 予習：「第8課」の語句の意味を調べる。	
	9	第8課 日本語の平易な長文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 学習課題 復習：「第8課」の確認 予習：「第9課」の語句の意味を調べる。	
	10	第9課 日本語の平易な長文を読み、新しい文型、文構成を理解する。 学習課題 復習：「第9課」の確認 予習：「第10課」の語句の意味を調べる。	
	11	第10課 日本語の平易な長文を読み、必要な情報を理解する。 学習課題 復習：「第10課」の確認 予習：「第11課」の語句の意味を調べる。	
	12	第11課 日本語の平易な長文を読み、内容を理解する。 学習課題 復習：「第11課」の確認 予習：「第12課」の語句の意味を調べる。	
	13	第12課 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。	

	14 学習課題 復習：「第12課」の確認 予習：「第13課」の語句の意味を調べてくる。 第13課 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。 15 学習課題 復習：「第13課」の確認 予習：「第14課」の語句の意味を調べてくる。 第14課 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題 復習：「第14課」の確認 予習：定期試験の準備
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日常的话题についての文章を読んで、内容がだいたい理解できる。 ②日常的话题についての記事を読んで、論点や要旨がだいたい理解できる。 ③日常的话题での文章を読んで、必要な情報がとれる。 ④現代日本語の基礎的な文法がだいたい理解できる。 ⑤理解した文法を、日常的话题に生かすことができる。 平素の学習意欲（20％）を重視し、学習状況並びに試験（50％）などにより行う。 日頃のノート（30％）についても随時点検し、評価の対象とする。
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	金曜日4限
備考・メッセージ	・欠席の場合は、必ずメールで連絡すること（連絡法については授業開始時に指示する）。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1 年	2 単位	選択
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	一刻も早く日本の生活に慣れるよう基本的会話に習熟し、まずはとりあえず日本語能力試験中級3級合格を目指す内容を扱う。		
授業計画	1	オリエンテーション 自己紹介、近接環境の案内、必要に応じて身近な情報の提供など。	
	2	初歩的内容の読解 (A) 語彙・語法の解説 (A) 基本漢字 (A)	
	3	初歩的内容の読解 (B) 語彙・語法の解説 (B) 基本漢字 (B) 1 分間スピーチ	
	4	初歩的内容の読解 (C) 語彙・語法の解説 (C) 基本漢字 (C) 1 分間スピーチ	
	5	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (D) 基本漢字 (D) 1 分間スピーチ	
	6	N3程度の読解 (A) 語彙・語法の解説 (E) 基本漢字 (E) 1 分間スピーチ	
	7	N3程度の読解 (B) 語彙・語法の解説 (F) 基本漢字 (F) 1 分間スピーチ	
	8	N3程度の読解 (C) 語彙・語法の解説 (G) 基本漢字 (G) 1 分間スピーチ	
	9	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (H) 基本漢字 (H) 1 分間スピーチ	
	10	N3程度の読解 (D) 語彙・語法の解説 (I) 基本漢字 (I) 1分間スピーチ	
	11	N3程度の読解 (E) 語彙・語法の解説 (J) 基本漢字 (J) 1 分間スピーチ	
	12	N3程度の読解 (F) 語彙・語法の解説 (K) 基本漢字 (K) 1 分間スピーチ	
	13	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (L) 基本漢字 (L) 1 分間スピーチ	
	14	新聞記事の読解 N3模擬試験	
	15	定期試験にむけての復習 質問受付 (N3模擬試験)	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本の生活に必要な基本的会話と心得るべき最低限度のマナーを身に付ける。 ②とりあえず小学上級学年レベルの読解を身に付け、基本的漢字の習得に力を注ぎ、日頃の生活のより円滑な暮らしに資する。 ③日本社会に溶け込むより自然な発話能力を高め、日本人学生とのスムーズな会話が楽しめるようにする。 ④中級者全員がN3に、90点以上での合格を目指す。		

	受講中の意欲（質問や目の輝き）を重視し、その他、数回の小テストおよび定期試験で評価する。 学習意欲（20%） 小テスト（30%） 定期試験（50%）
教科書・参考書	使用テキスト：開講はじめに指示する。 参考書：必要に応じて指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	